

町をきれいにしようという、皆さんの思いがたくさん集まりました。

清掃活動 Clean up Activities



西別川清掃

標茶町虹別西別川流域 | 5月21日

摩周水環境保全実行委員会（館定宣委員長）主催の西別川清掃が虹別周辺の西別川流域で行われました。町民ら17人が参加して、清掃活動を行い、可燃ごみ20kg、不燃ごみ40kgが回収されました。



第14回町内クリーン作戦

標茶町ルルラン通り | 5月10日

本町主催の第14回町内クリーン作戦が町道ルルラン通りのルルラン踏切から国道391号線までの約4キロの区間で行われ、町民ら約160人が清掃活動に汗を流しました。今回は可燃ごみ420kg、不燃ごみ450kgが回収されました。

地球環境を保全する次のステップ。

環境フォーラム Environmental Forum



釧路湿原クリーンデー

標茶町塘路湖周辺 | 5月24日

釧路湿原を美しくする会標茶支部（池田裕二支部長）主催の釧路湿原クリーンデーが、塘路湖畔や塘路林道、コッタ口湿原周辺などで行われ、町民ら約150人が清掃活動を行いました。今回は可燃ごみ450kg、不燃ごみ1,060kgが回収されました。



第13回摩周水環境フォーラム

標茶町虹別酪農センター | 6月1日

摩周水系西別川流域連絡協議会（会長・水沼猛別海町長）などが主催の第13回摩周水環境フォーラムが開催されました。テーマは「地域環境を保全する意義と次のステップ」。西別川でバイカモの生育状況の調査を続けてきた山形大学農学部の菊池俊一准教授が「バイカモからみた西別川の変容」と題して基調講演を行いました。講演後は菊池准教授と自然保護関係者らによるパネルディスカッションが行われました。

森と川の月間の事業である植樹活動、清掃活動などに多くの町民の方が参加されました。

毎年5月は、標茶町「森と川の月間」。

1,000人を越える町民らの手により、6,765本が植えられました。

植樹活動 Arbor Day



第13回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹

| 標茶町虹別萩野地区保安林 | 5月23日

本町主催の第13回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹が虹別萩野地区保安林で開催され、ヤチダモの苗木300本を植樹しました。国営事業により整備された保安林の枯れた木を再生するため、釧路開発建設部で始

めた取り組みを本町が引き継いで行っている事業です。この日は町民など約50人が参加し、スコップなどで土を掘り起こし苗木を丁寧に植えました。



第21回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

| 標茶町虹別西別川流域 | 5月18日

虹別コロカムイの会（館定宣会長）は虹別地区西別川流域の町有地でミズナラやハンノキなど6種類の苗木3,000本を植樹しました。この取り組みはシマフクロウの保護と環境整備のため西別川周辺の植樹活動を行

い、町民や道内外の会員など約200人が参加しました。今年は開会式で同会と町の間で「森林整備に関する協定」が締結され、今年と来年植樹する町有地の維持管理は同会が行います。



平成26年度厚岸町民の森植樹祭

| 厚岸町太田地区町有林 | 6月1日

厚岸町民の森造成実行委員会（村上秀則会長）主催の平成26年度厚岸町民の森植樹祭が厚岸町太田地区町有林で開催され、ヤチダモやミズナラなど5種類の苗木2,250本を植樹しました。この取り組みは別寒辺牛川、ホマカイ川流域環境

保全協議会の活動の一環として上流に位置する本町の町民も毎年参加している事業です。この日は約600人が参加し、スコップやくわを手に、等間隔で穴を開けた後、苗を置き丁寧に土をかぶせていました。



第20回豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動

| 標茶町コッタ口町有林 | 5月31日

豊かな緑と魚のリバーサイド植樹実行委員会（近藤龍洋委員長）はコッタ口町有林内でミズナラやヤチダモなどの苗木1,215本を町民のほか、町外からは釧路市漁協など約180人が参加して植樹に汗を流しました。

今年は20回目の節目を記念して、植樹後は憩の家かや沼で交流会を行い、釧路市漁協と釧路市東部漁協女性部が旬の時鮭を使った「トキ鍋」などが振る舞われました。